

令和7年度

第1回新潟県公共事業再評価委員会

【 県 提 出 案 】

令和7年11月18日

令和7年度 再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	防災・安全交付金（道路事業）
事業箇所	村上市岩沢地内	路線名	一般県道小揚猿沢線 岩沢工区

1 事業の概要

<p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>一般県道小揚猿沢線は、村上市小揚地区と猿沢地区を結ぶ延長9.2kmの県道であり、終点部の一般国道7号および日本海東北自動車道朝日まほろばICとアクセスする第2次緊急輸送道路に指定されている路線である。また、周辺集落の生活道路や通学路としての役割を担っている重要な路線である。</p> <p>しかし、当該事業区間は幅員狭小の上、見通しの悪い屈曲した交差点があることから、車両のすれ違いが困難であるとともに、小学校の通学路にもかかわらず歩道が未整備であり、通学児童の安全が確保されていない状況である。そのため、令和3年度通学路合同点検において要対策箇所に指定されており、現道の線形改良及び歩道の設置を求められている。</p> <p>本事業は現道の拡幅・線形改良及び歩道を整備することにより、車両の円滑な交通の確保と通学児童の安全性の確保等を図ることを目的とした延長0.4kmの道路事業である。</p>	<p>③ 残事業内容</p> <p>L=0.4km 現道拡幅及び歩道設置</p>																																																															
<p>② 事業内容</p> <p>L=0.4km 現道拡幅及び歩道設置</p>	<p>④ 総事業費</p> <p>410百万円 [350百万円]</p>																																																															
<p>⑤ 執行済事業費</p> <p>121百万円 [- 百万円]</p>	<p>⑦ 進捗率（事業費ベース）</p> <p>30% (= 121/410)</p>																																																															
<p>⑥ R7年度以降残事業費</p> <p>289百万円 [- 百万円]</p>	<p>⑧ 現在の費用対効果(B/C) [基準年 R7年]</p> <p>全体事業 B/C=1.1 (381/362) 残事業 B/C=2.2 (381/174)</p>																																																															
<p>⑩ 便益の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">(全体事業)</th> <th style="text-align: center;">(残事業)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>走行時間短縮の便益</td> <td style="text-align: right;">328百万円</td> <td style="text-align: right;">328百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少の便益</td> <td style="text-align: right;">35百万円</td> <td style="text-align: right;">35百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少の便益</td> <td style="text-align: right;">5百万円</td> <td style="text-align: right;">5百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他便益：内訳</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 冬期便益</td> <td style="text-align: right;">13百万円</td> <td style="text-align: right;">13百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> </tr> <tr> <td> 休日観光便益</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> </tr> <tr> <td> 災害便益</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> </tr> </tbody> </table>		(全体事業)	(残事業)	走行時間短縮の便益	328百万円	328百万円		[-百万円]	[-百万円]	走行経費減少の便益	35百万円	35百万円		[-百万円]	[-百万円]	交通事故減少の便益	5百万円	5百万円		[-百万円]	[-百万円]	その他便益：内訳			冬期便益	13百万円	13百万円		[-百万円]	[-百万円]	休日観光便益	0百万円	0百万円		[-百万円]	[-百万円]	災害便益	0百万円	0百万円		[-百万円]	[-百万円]	<p>⑨ 前回費用対効果(B/C)</p> <p>全体事業 B/C= - (- / -)</p> <p>⑪ 費用の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">(全体事業)</th> <th style="text-align: center;">(残事業)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総費用</td> <td style="text-align: right;">362百万円</td> <td style="text-align: right;">174百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[- 百万円]</td> <td style="text-align: right;">[- 百万円]</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td style="text-align: right;">362百万円</td> <td style="text-align: right;">174百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[- 百万円]</td> <td style="text-align: right;">[- 百万円]</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[- 百万円]</td> <td style="text-align: right;">[- 百万円]</td> </tr> </tbody> </table>		(全体事業)	(残事業)	総費用	362百万円	174百万円		[- 百万円]	[- 百万円]	総事業費	362百万円	174百万円		[- 百万円]	[- 百万円]	維持管理費	0百万円	0百万円		[- 百万円]	[- 百万円]
	(全体事業)	(残事業)																																																														
走行時間短縮の便益	328百万円	328百万円																																																														
	[-百万円]	[-百万円]																																																														
走行経費減少の便益	35百万円	35百万円																																																														
	[-百万円]	[-百万円]																																																														
交通事故減少の便益	5百万円	5百万円																																																														
	[-百万円]	[-百万円]																																																														
その他便益：内訳																																																																
冬期便益	13百万円	13百万円																																																														
	[-百万円]	[-百万円]																																																														
休日観光便益	0百万円	0百万円																																																														
	[-百万円]	[-百万円]																																																														
災害便益	0百万円	0百万円																																																														
	[-百万円]	[-百万円]																																																														
	(全体事業)	(残事業)																																																														
総費用	362百万円	174百万円																																																														
	[- 百万円]	[- 百万円]																																																														
総事業費	362百万円	174百万円																																																														
	[- 百万円]	[- 百万円]																																																														
維持管理費	0百万円	0百万円																																																														
	[- 百万円]	[- 百万円]																																																														

※ ④～⑥、⑩、⑪の[]内は前回再評価時の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費及び更新費を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

<p>⑫事業の進捗が遅れている理由（前回評価時からの変化、遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・用地取得において、物件の移転場所の選定に時間を要していることから、事業期間が延伸となる。
<p>⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・通学児童等の歩行者の安全性向上・車両の安全かつ円滑な交通の確保・災害に強い道路ネットワークの形成
<p>⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果</p> <ul style="list-style-type: none">・歩道の整備と屈曲部の解消により、スクールバス停留所までの通学経路における通学児童の安全性向上が期待される。・幅員狭小、屈曲部の解消により、事業区間における交通事故の減少が期待される。・第2次緊急輸送道路としての機能強化が図られ、災害に強い道路ネットワークの形成が期待される。・日本海東北自動車道の朝日まほろばICへのアクセス道路として機能強化が図られる。
<p>⑮社会経済情勢の変化（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・原材料費等の高騰に伴い建設資材価格が高騰してきている。・道の駅「朝日」リニューアル整備事業が進行しており、令和9年にオープン予定である。
<p>⑯B/Cの変化の要因（前回評価時から需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・物価高騰による諸経費・労務費・資材費が増額したことで、事業費が増加した。
<p>⑰コスト縮減、代替案の可能性（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・建設発生土を本事業区間内で転用するなど、コスト縮減に努める。
<p>⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・県道小揚猿沢線道路整備促進期成同盟会から早期整備の強い要望がある。・令和3年度通学路合同点検における要対策箇所となっており、早期整備・供用が求められている。

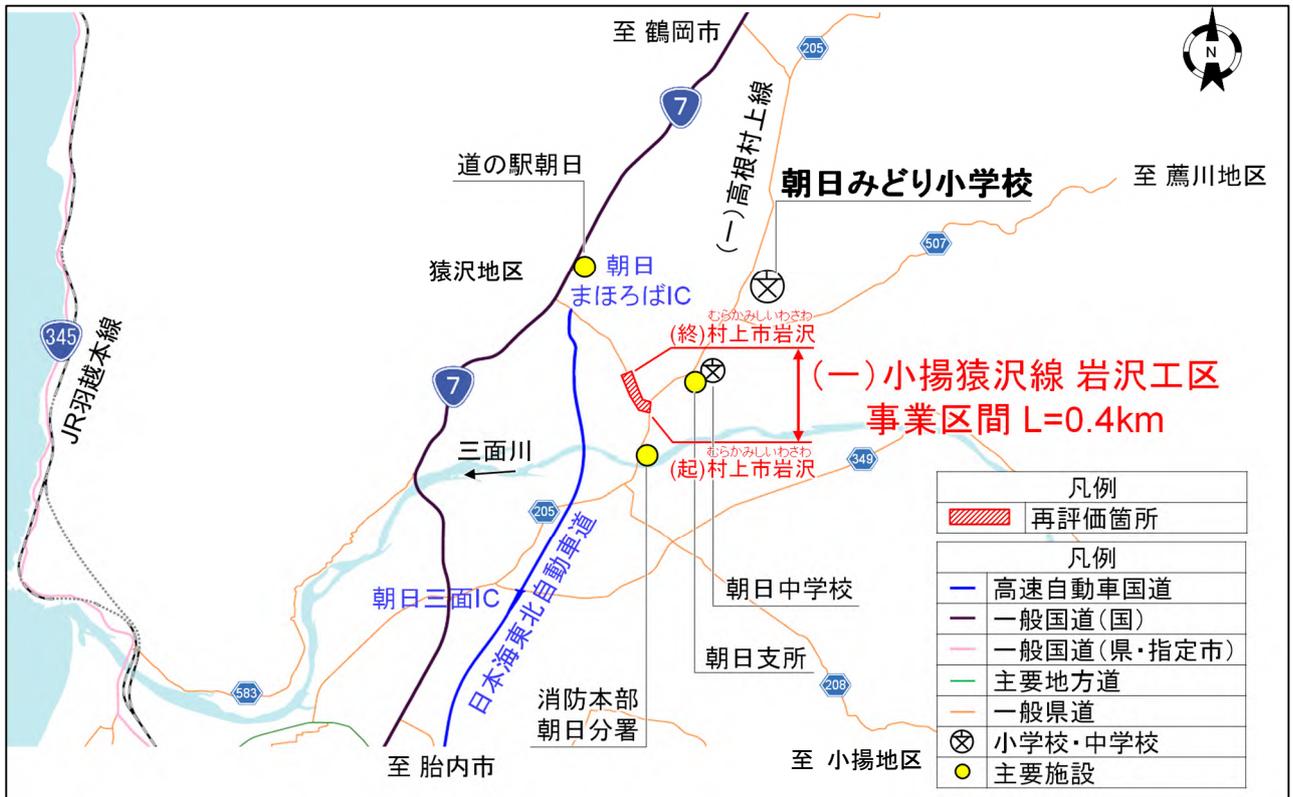
3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

- ・道路拡幅および歩道を整備することにより、通学児童の安全性の確保や車両の円滑な交通が確保され、大きな事業効果が発現することから、来年度以降も事業を継続したい。

4 経緯

区 分	当初(R4)	今回再評価(R7)		
工 期	R4~R7 (2022~2025)	R4~R9 (2022~2027)		
総事業費	350 百万円	410 百万円		
事業内容	(事業内容) L=0.4km 現道拡幅及び 歩道設置	(事業内容) L=0.4km 現道拡幅及び 歩道設置	(残事業内容) L=0.4km 現道拡幅及び 歩道設置	
費用対効果 (B/C)	B/C= - (全体) (= - / -)	B/C=1.1(全体) (=381/362) B/C=2.2(残事業) (=381/174)		

【事業概要図】



①現道状況（すれ違いが困難な状況）



②現道状況（車両と児童の交錯状況）



令和7年度 再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	社会資本整備総合交付金（道路事業）
事業箇所	柏崎市荒浜地内	路線名	一般国道352号 荒浜改良

1 事業の概要

①事業の目的・効果・必要性等 一般国道352号は、新潟県柏崎市を起点として、栃木県河内郡三川町を終点とする延長約241kmの幹線道路であり、第2次緊急輸送道路に指定されている重要な路線である。 当該事業区間は、柏崎市街～出雲崎町及び長岡市方面の生活圏を相互に連絡する生活道路としての役割や、荒浜漁港・海水浴場へのアクセスルートとしての役割も担っている。 しかし、現道の沿線に位置する荒浜集落では、幅員が狭く、歩道も未整備のため、歩行者の安全確保や生活環境の改善（振動・騒音の低減）が課題となっている。 本事業は、バイパス整備により、大型車等の通過交通の転換を行い、現道区間における車両や歩行者等の安全性向上や生活環境の改善、緊急輸送道路の機能強化・信頼性向上等を図ることを目的とした延長2.3kmの道路事業である。																																																																																																																																															
②事業内容 L=2.3km バイパス整備	③残事業内容 L=1.8km バイパス整備																																																																																																																																														
④総事業費 2,171百万円[1,220百万円]	⑦進捗率（事業費ベース） 70.1%（=1,521/2,171）																																																																																																																																														
⑤執行済事業費 1,521百万円[- 百万円]	⑧現在の費用対効果(B/C)〔基準年 R7年〕 事業全体 B/C=0.6 (1,345/2,289) 残事業 B/C=3.4 (1,242/ 369)																																																																																																																																														
⑥R7年度以降残事業費 650百万円[- 百万円]	⑨前回費用対効果(B/C)〔基準年 H27年〕 全体事業 B/C=1.6(1,609/1,023) 残事業 B/C=1.6(1,609/1,023)																																																																																																																																														
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">⑩便益の内訳</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td style="text-align: right;">1,252百万円</td> <td style="text-align: right;">1,066百万円</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,289百万円</td> <td style="text-align: right;">369百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[1,362百万円]</td> <td style="text-align: right;">[1,362百万円]</td> <td></td> <td style="text-align: right;">[1,023百万円]</td> <td style="text-align: right;">[1,023百万円]</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td style="text-align: right;">96百万円</td> <td style="text-align: right;">133百万円</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,235百万円</td> <td style="text-align: right;">324百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[206百万円]</td> <td style="text-align: right;">[206百万円]</td> <td></td> <td style="text-align: right;">[980百万円]</td> <td style="text-align: right;">[980百万円]</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td style="text-align: right;">-20百万円</td> <td style="text-align: right;">29百万円</td> <td></td> <td style="text-align: right;">54百万円</td> <td style="text-align: right;">45百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[32百万円]</td> <td style="text-align: right;">[32百万円]</td> <td></td> <td style="text-align: right;">[43百万円]</td> <td style="text-align: right;">[43百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益：内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬期便益</td> <td style="text-align: right;">17百万円</td> <td style="text-align: right;">14百万円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[9百万円]</td> <td style="text-align: right;">[9百万円]</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休日観光便益</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害便益</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			⑩便益の内訳							(事業全体)	(残事業)		(事業全体)	(残事業)	走行時間短縮便益	1,252百万円	1,066百万円		2,289百万円	369百万円		[1,362百万円]	[1,362百万円]		[1,023百万円]	[1,023百万円]	走行経費減少便益	96百万円	133百万円		2,235百万円	324百万円		[206百万円]	[206百万円]		[980百万円]	[980百万円]	交通事故減少便益	-20百万円	29百万円		54百万円	45百万円		[32百万円]	[32百万円]		[43百万円]	[43百万円]	その他の便益：内訳						冬期便益	17百万円	14百万円					[9百万円]	[9百万円]				休日観光便益	0百万円	0百万円					[-百万円]	[-百万円]				災害便益	0百万円	0百万円					[-百万円]	[-百万円]				⑪費用の内訳 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td style="text-align: right;">2,289百万円</td> <td style="text-align: right;">369百万円</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,289百万円</td> <td style="text-align: right;">369百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[1,023百万円]</td> <td style="text-align: right;">[1,023百万円]</td> <td></td> <td style="text-align: right;">[1,023百万円]</td> <td style="text-align: right;">[1,023百万円]</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td style="text-align: right;">2,235百万円</td> <td style="text-align: right;">324百万円</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,235百万円</td> <td style="text-align: right;">324百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[980百万円]</td> <td style="text-align: right;">[980百万円]</td> <td></td> <td style="text-align: right;">[980百万円]</td> <td style="text-align: right;">[980百万円]</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: right;">54百万円</td> <td style="text-align: right;">45百万円</td> <td></td> <td style="text-align: right;">54百万円</td> <td style="text-align: right;">45百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[43百万円]</td> <td style="text-align: right;">[43百万円]</td> <td></td> <td style="text-align: right;">[43百万円]</td> <td style="text-align: right;">[43百万円]</td> </tr> </table>										(事業全体)	(残事業)		(事業全体)	(残事業)	総費用	2,289百万円	369百万円		2,289百万円	369百万円		[1,023百万円]	[1,023百万円]		[1,023百万円]	[1,023百万円]	総事業費	2,235百万円	324百万円		2,235百万円	324百万円		[980百万円]	[980百万円]		[980百万円]	[980百万円]	維持管理費	54百万円	45百万円		54百万円	45百万円		[43百万円]	[43百万円]		[43百万円]	[43百万円]
⑩便益の内訳																																																																																																																																															
	(事業全体)	(残事業)		(事業全体)	(残事業)																																																																																																																																										
走行時間短縮便益	1,252百万円	1,066百万円		2,289百万円	369百万円																																																																																																																																										
	[1,362百万円]	[1,362百万円]		[1,023百万円]	[1,023百万円]																																																																																																																																										
走行経費減少便益	96百万円	133百万円		2,235百万円	324百万円																																																																																																																																										
	[206百万円]	[206百万円]		[980百万円]	[980百万円]																																																																																																																																										
交通事故減少便益	-20百万円	29百万円		54百万円	45百万円																																																																																																																																										
	[32百万円]	[32百万円]		[43百万円]	[43百万円]																																																																																																																																										
その他の便益：内訳																																																																																																																																															
冬期便益	17百万円	14百万円																																																																																																																																													
	[9百万円]	[9百万円]																																																																																																																																													
休日観光便益	0百万円	0百万円																																																																																																																																													
	[-百万円]	[-百万円]																																																																																																																																													
災害便益	0百万円	0百万円																																																																																																																																													
	[-百万円]	[-百万円]																																																																																																																																													
	(事業全体)	(残事業)		(事業全体)	(残事業)																																																																																																																																										
総費用	2,289百万円	369百万円		2,289百万円	369百万円																																																																																																																																										
	[1,023百万円]	[1,023百万円]		[1,023百万円]	[1,023百万円]																																																																																																																																										
総事業費	2,235百万円	324百万円		2,235百万円	324百万円																																																																																																																																										
	[980百万円]	[980百万円]		[980百万円]	[980百万円]																																																																																																																																										
維持管理費	54百万円	45百万円		54百万円	45百万円																																																																																																																																										
	[43百万円]	[43百万円]		[43百万円]	[43百万円]																																																																																																																																										

※ ④～⑥、⑩、⑪の[]内は当初評価時（平成28年度）の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費及び更新費を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

<p>⑫事業の進捗が遅れている理由（前回評価時からの変化、遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・地質調査の結果、一部区間において液状化が発生することが判明したため、軟弱地盤対策工の追加が必要となったことから、事業期間が延伸となる。
<p>⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・現道区間における車両及び歩行者の安全性・快適性向上・物流円滑化による生産性向上
<p>⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果</p> <ul style="list-style-type: none">・一般国道352号における柏崎市内唯一の幅員狭小区間が解消され、一般国道352号の第2次緊急輸送道路としての機能強化・信頼性の向上が図られる。・原子力災害時等の避難ルートとしての信頼性向上が図られ、緊急時における地域の安全性向上が期待される。
<p>⑮社会経済情勢の変化（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・原材料費等の高騰に伴い建設資材価格が高騰してきている。・平成30年度に一般国道352号松波拡幅（L=1.6km）が供用している。
<p>⑯B/Cの変化の要因（前回評価時から需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・物価高騰による諸経費・労務費・資材費が増加したことで、事業費が増加した。・液状化に対する軟弱地盤対策工を実施したことにより事業費が増加した。
<p>⑰コスト縮減、代替案の可能性（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・建設発生土を本事業区間内で転用するなど、コスト縮減に努めている。
<p>⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・一般国道352号柏崎魚沼間改良整備促進期成同盟会から早期整備・供用の強い要望がある。

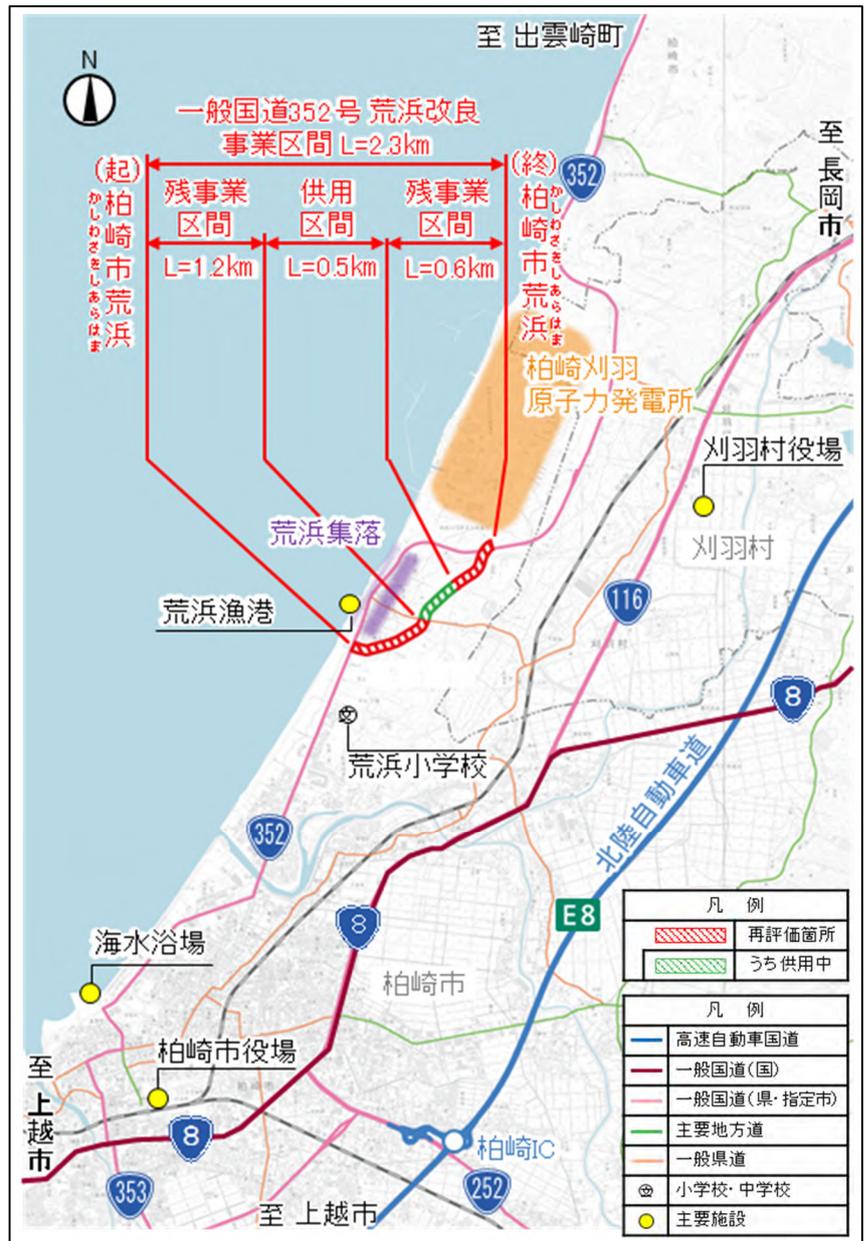
3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

- ・事業区間2.3kmのうち、これまでに0.5kmが供用済みであり、残事業区間についてもバイパス整備により、大きな事業効果が発現することから、来年度以降も事業を継続したい。

4 経緯

区分	当初(H28)	事業点検(R2)	今回再評価(R7)	
工期	H28～R4 (2016～2022)	H28～R7 (2016～2025)	H28～R10 (2016～2028)	
総事業費	1,220万円	1,220万円	2,171百万円	
事業内容	(事業内容) L=2.3km バイパス整備	(事業内容) L=2.3km バイパス整備	(事業内容) L=2.3km バイパス整備	(残事業内容) L=1.8km バイパス整備
費用対効果 (B/C)	B/C=1.6(全体) (=1,609/1,023)	—	B/C=0.6(全体) (=1,345/2,289) B/C=3.4(残事業) (=1,242/369)	

【事業概要図】



① 現道状況（車両と歩行者の交錯状況）



② 現道状況（すれ違いが困難な状況）



令和7年度 再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	交通安全対策（通学路緊急対策）（道路事業）
事業箇所	上越市三和区本郷～沖柳地内	路線名	主要地方道新井柿崎線 沖柳工区

1 事業の概要

① 事業の目的・効果・必要性等 主要地方道新井柿崎線は、妙高市と上越市柿崎区を結び上越地域を縦断する県道であり、第2次緊急輸送道路に指定されているほか、周辺地域の生活道路や通学路としての役割を担っている重要な路線である。 当該事業区間は、上越市三和区沖柳地区に位置し、通学路として利用されているが、歩道が未整備の上、車道幅員が狭く、歩行者や自転車の利用者が危険な状況にある。また、通行車両は対向車や路肩を通行する歩行者や自転車を避けるため車線逸脱や急減速が見られ走行性に問題があり、降雪期はさらにそれが悪化している状況である。そのため、令和3年度通学路合同点検において要対策箇所に指定されており、歩道空間や路肩の設置が求められている。 本事業は、現道拡幅および歩道を整備することにより、車両の円滑な交通の確保と歩行者の安全性の確保等を図る目的とした事業である。																																						
② 事業内容 L=0.29km 現道拡幅及び歩道設置 歩道橋 1橋	③ 残事業内容 L=0.29km 現道拡幅及び歩道設置 歩道橋 1橋																																					
④ 総事業費 530百万円 [450百万円]	⑦ 進捗率（事業費ベース） 60% (= 318/530)																																					
⑤ 執行済事業費 318百万円 [-百万円]	⑧ 現在の費用対効果 (B/C) [基準年 R7年] 全体事業 B/C=1.4 (682/497) 残事業 B/C=7.9 (682/ 86)																																					
⑥ R7年度以降残事業費 212百万円 [-百万円]	⑨ 前回費用対効果 (B/C)] 全体事業 B/C=- (-/-)																																					
⑩ 便益の内訳 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%; text-align: center;">(全体事業)</th> <th style="width: 35%; text-align: center;">(残事業)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td style="text-align: center;">467百万円 [-百万円]</td> <td style="text-align: center;">467百万円 [-百万円]</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td style="text-align: center;">129百万円 [-百万円]</td> <td style="text-align: center;">129百万円 [-百万円]</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td style="text-align: center;">39百万円 [-百万円]</td> <td style="text-align: center;">39百万円 [-百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益；内訳</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 冬期便益</td> <td style="text-align: center;">47百万円 [-百万円]</td> <td style="text-align: center;">47百万円 [-百万円]</td> </tr> <tr> <td> 休日観光便益</td> <td style="text-align: center;">-百万円 [-百万円]</td> <td style="text-align: center;">-百万円 [-百万円]</td> </tr> <tr> <td> 災害便益</td> <td style="text-align: center;">-百万円 [-百万円]</td> <td style="text-align: center;">-百万円 [-百万円]</td> </tr> </tbody> </table>		(全体事業)	(残事業)	走行時間短縮便益	467百万円 [-百万円]	467百万円 [-百万円]	走行経費減少便益	129百万円 [-百万円]	129百万円 [-百万円]	交通事故減少便益	39百万円 [-百万円]	39百万円 [-百万円]	その他の便益；内訳			冬期便益	47百万円 [-百万円]	47百万円 [-百万円]	休日観光便益	-百万円 [-百万円]	-百万円 [-百万円]	災害便益	-百万円 [-百万円]	-百万円 [-百万円]	⑪ 費用の内訳 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%; text-align: center;">(全体事業)</th> <th style="width: 35%; text-align: center;">(残事業)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総費用</td> <td style="text-align: center;">497百万円 [-百万円]</td> <td style="text-align: center;">86百万円 [-百万円]</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td style="text-align: center;">497百万円 [-百万円]</td> <td style="text-align: center;">86百万円 [-百万円]</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: center;">0百万円 [-百万円]</td> <td style="text-align: center;">0百万円 [-百万円]</td> </tr> </tbody> </table>			(全体事業)	(残事業)	総費用	497百万円 [-百万円]	86百万円 [-百万円]	総事業費	497百万円 [-百万円]	86百万円 [-百万円]	維持管理費	0百万円 [-百万円]	0百万円 [-百万円]
	(全体事業)	(残事業)																																				
走行時間短縮便益	467百万円 [-百万円]	467百万円 [-百万円]																																				
走行経費減少便益	129百万円 [-百万円]	129百万円 [-百万円]																																				
交通事故減少便益	39百万円 [-百万円]	39百万円 [-百万円]																																				
その他の便益；内訳																																						
冬期便益	47百万円 [-百万円]	47百万円 [-百万円]																																				
休日観光便益	-百万円 [-百万円]	-百万円 [-百万円]																																				
災害便益	-百万円 [-百万円]	-百万円 [-百万円]																																				
	(全体事業)	(残事業)																																				
総費用	497百万円 [-百万円]	86百万円 [-百万円]																																				
総事業費	497百万円 [-百万円]	86百万円 [-百万円]																																				
維持管理費	0百万円 [-百万円]	0百万円 [-百万円]																																				

※ ④～⑥、⑩、⑪の[]内は前回再評価時の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費及び更新費を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

<p>⑫事業の進捗が遅れている理由（前回評価時からの変化、遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・用地取得において、隣接地権者の境界確認に時間を要したため、事業期間が2年延伸となる。
<p>⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・通学児童などの歩行者や自転車の安全性の向上・車両の安全かつ円滑な交通の確保・雪や災害に強い道路ネットワークの形成
<p>⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果</p> <ul style="list-style-type: none">・歩道設置に伴う歩行者・自転車の安全性が向上する。・第2次緊急輸送道路としての機能強化が図られ、災害に強い道路ネットワークの形成が期待される。
<p>⑮社会経済情勢の変化（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・令和6年3月都市計画道路黒井藤野新田線 県道大養直江津線から一般国道253号までのL=900mが供用・令和6年3月北陸新幹線延伸（金沢駅～敦賀駅開業）され上越妙高駅の乗降者の変化
<p>⑯B/Cの変化の要因（前回評価時から需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・物価高騰による諸経費・労務費・資材費が増額したことで事業費が増加した。
<p>⑰コスト縮減、代替案の可能性（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・他工事から建設発生土を有効活用することでコスト縮減に努めている。
<p>⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等（前回評価時からの変化についても記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・県道新井柿崎線整備促進議員連盟が組織されており、早期整備・供用に強い要望がある。・令和3年度通学路合同点検における要対策箇所となっており、早期整備・供用が求められている。

3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

- ・道路拡幅および歩道を整備することにより、通学路の安全性確保、車両相互の安全性・走行性等が向上され、大きな事業効果が発現することから、来年度以降も事業を継続したい。

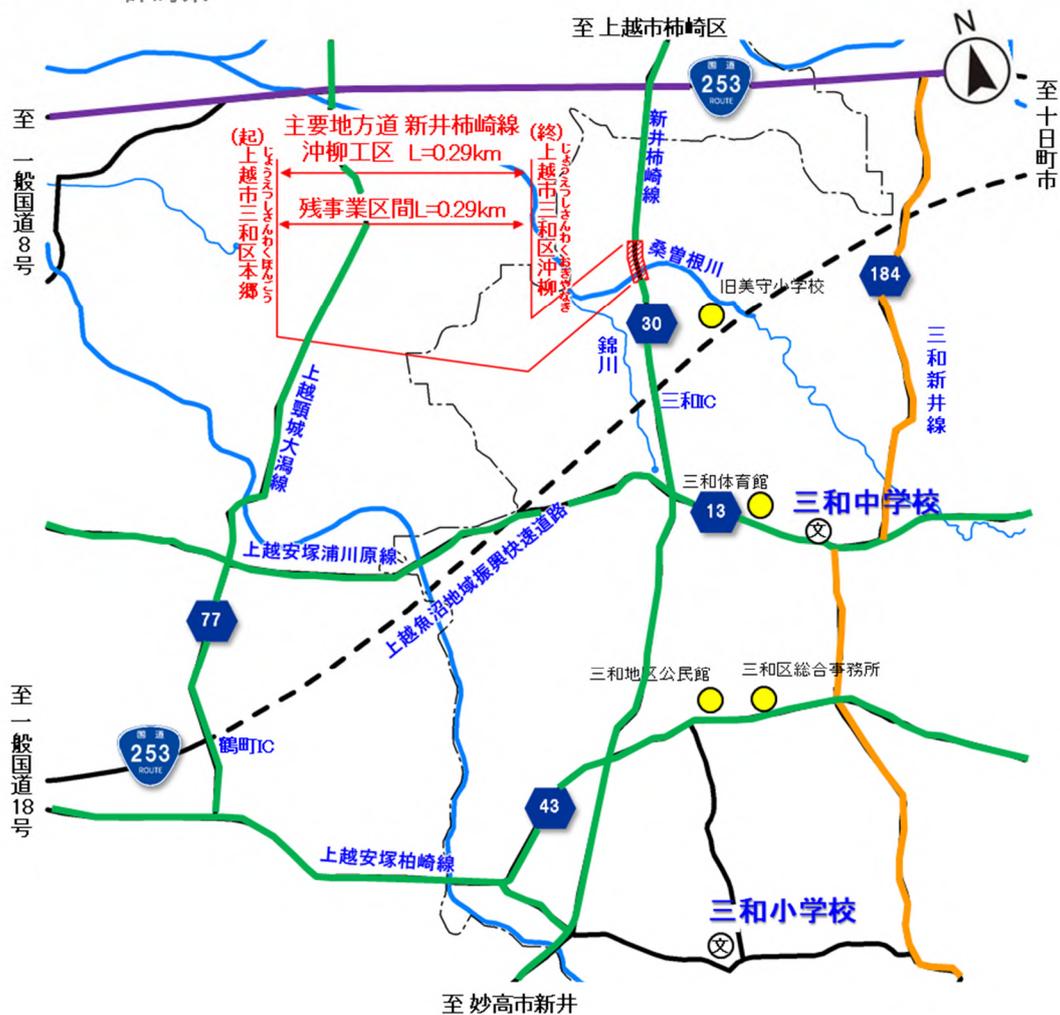
4 経緯

区分	当初(R4)	今回再評価(R7)		
工期	R4~R7 (2022~2025)	R4~R9 (2022~2027)		
総事業費	450 百万円	530 百万円		
事業内容	(事業内容) L=0.29km 現道拡幅及び 歩道設置 歩道橋 1 橋	(事業内容) L=0.29km 現道拡幅及び 歩道設置 歩道橋 1 橋	(残事業内容) L=0.29km 現道拡幅及び 歩道設置 歩道橋 1 橋	
費用対効果 (B/C)	B/C=- (全体) (=-/-)	B/C=1.4 (全体) (=682/497) B/C=7.9 (残事業) (=682/86)		

【事業概要図】



凡 例	
	再評価箇所
	一般国道（県管理）
	主要地方道
	一般県道
	道路建設予定地
	小学校・中学校
	主要施設



①現道状況（歩行者の脇を大型車が走行）



②現道状況（大型車が車線を逸脱して走行）



令和7年度 再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	防災・安全交付金（道路事業）
事業箇所	上越市大島区中野、安塚区坊金地内	路線名	一般国道403号 中野坊金改良

1 事業の概要

①事業の目的・効果・必要性等 一般国道403号は、新潟県新潟市を起点として、長野県松本市に至る幹線道路であり、第2次緊急輸送道路に指定されており、災害時には上越市から十日町市間を結ぶ主要幹線の国道253号の代替路線としての機能も担う重要な路線である。 しかし、当該事業区間は、幅員狭小及び線形不良区間が連続し、車両のすれ違いが困難な状況であり、円滑な交通の確保が課題となっている。 本事業は現道の拡幅・線形改良を整備することにより、車両の円滑な交通を確保し、緊急輸送道路の機能強化及び国道253号の代替路線としての信頼性向上を図ることを目的とした延長2.5kmの道路事業である。																																																																
②事業内容 L=2.5km 現道拡幅 橋梁1橋	③残事業内容 L=0.7km 現道拡幅																																																															
④総事業費 3,324百万円 [2,824百万円]	⑦進捗率（事業費ベース） 80.5% (=2,677/3,324)																																																															
⑤執行済事業費 2,677百万円 [2,198百万円]	⑧現在の費用対効果(B/C)〔基準年 R7年〕 全体事業 B/C=0.2 (890 / 4,837) 残事業 B/C=1.4 (588 / 427)																																																															
⑥R7年度以降残事業費 647百万円 [626百万円]	⑨前回費用対効果(B/C)〔基準年 R3年〕 全体事業 B/C=0.5 (1,839 / 3,592) 残事業 B/C=3.5 (1,509 / 426)																																																															
⑩便益の内訳 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">(全体事業)</th> <th style="text-align: center;">(残事業)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td style="text-align: right;">801百万円</td> <td style="text-align: right;">530百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[1,674百万円]</td> <td style="text-align: right;">[1,375百万円]</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td style="text-align: right;">32百万円</td> <td style="text-align: right;">21百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[47百万円]</td> <td style="text-align: right;">[38百万円]</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> </tr> <tr> <td>その他の便益：内訳</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 冬期便益</td> <td style="text-align: right;">57百万円</td> <td style="text-align: right;">37百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[118百万円]</td> <td style="text-align: right;">[96百万円]</td> </tr> <tr> <td> 休日観光便益</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> </tr> <tr> <td> 災害便益</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> </tr> </tbody> </table>		(全体事業)	(残事業)	走行時間短縮便益	801百万円	530百万円		[1,674百万円]	[1,375百万円]	走行経費減少便益	32百万円	21百万円		[47百万円]	[38百万円]	交通事故減少便益	0百万円	0百万円		[-百万円]	[-百万円]	その他の便益：内訳			冬期便益	57百万円	37百万円		[118百万円]	[96百万円]	休日観光便益	0百万円	0百万円		[-百万円]	[-百万円]	災害便益	0百万円	0百万円		[-百万円]	[-百万円]	⑪費用の内訳 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">(全体事業)</th> <th style="text-align: center;">(残事業)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総費用</td> <td style="text-align: right;">4,837百万円</td> <td style="text-align: right;">427百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[3,592百万円]</td> <td style="text-align: right;">[426百万円]</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td style="text-align: right;">4,837百万円</td> <td style="text-align: right;">427百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[3,592百万円]</td> <td style="text-align: right;">[426百万円]</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> <td style="text-align: right;">[-百万円]</td> </tr> </tbody> </table>		(全体事業)	(残事業)	総費用	4,837百万円	427百万円		[3,592百万円]	[426百万円]	総事業費	4,837百万円	427百万円		[3,592百万円]	[426百万円]	維持管理費	0百万円	0百万円		[-百万円]	[-百万円]
	(全体事業)	(残事業)																																																														
走行時間短縮便益	801百万円	530百万円																																																														
	[1,674百万円]	[1,375百万円]																																																														
走行経費減少便益	32百万円	21百万円																																																														
	[47百万円]	[38百万円]																																																														
交通事故減少便益	0百万円	0百万円																																																														
	[-百万円]	[-百万円]																																																														
その他の便益：内訳																																																																
冬期便益	57百万円	37百万円																																																														
	[118百万円]	[96百万円]																																																														
休日観光便益	0百万円	0百万円																																																														
	[-百万円]	[-百万円]																																																														
災害便益	0百万円	0百万円																																																														
	[-百万円]	[-百万円]																																																														
	(全体事業)	(残事業)																																																														
総費用	4,837百万円	427百万円																																																														
	[3,592百万円]	[426百万円]																																																														
総事業費	4,837百万円	427百万円																																																														
	[3,592百万円]	[426百万円]																																																														
維持管理費	0百万円	0百万円																																																														
	[-百万円]	[-百万円]																																																														

※ ④～⑥、⑩、⑪の[]内は前回再評価時（令和3年度）の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費及び更新費を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

⑫事業の進捗が遅れている理由（前回評価時からの変化、遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載）

- ・坊金橋下部工工事において、設置した仮設鋼矢板が想定以上の大雨による地山の変状によって押し曲げられ、その復旧に時間を要することとなったことから、事業期間が延伸となる。

⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）

- ・第2次緊急輸送道路の機能強化
- ・国道253号の代替路線としての信頼性向上
- ・第3次医療施設へのアクセス性向上
- ・主要観光施設へのアクセス性向上

⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果

- ・第2次緊急輸送道路としての機能強化が図られ、災害に強い道路ネットワークの形成が期待される。
- ・上越市東部集落から第3次医療施設へのアクセス性が向上し、搬送時間短縮による救命率の向上が期待される。
- ・上越市街地や十日町市街地から主要観光地へのアクセス性が向上し、観光客の増加が期待される。

⑮社会経済情勢の変化（前回評価時からの変化についても記載）

- ・原材料費等の高騰に伴い建設資材価格が高騰してきている。
- ・令和6年度に都市計画道路黒井藤野新田線県道大瀧直江津線～一般国道253号区間（L=0.9km）が供用している。

⑯B/Cの変化の要因（前回評価時から需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）

- ・物価高騰による諸経費・労務費・資材費が増額したことで、事業費が増加した。
- ・大雨を起因とする地山変状による復旧工事が必要になったことや、一部区間における施工計画の変更（全面通行止めから片側交互通行規制に変更）をしたことにより事業費が増加した。

⑰コスト縮減、代替案の可能性（前回評価時からの変化についても記載）

- ・一部区間において、現地条件により道路計画を変更することで、コスト縮減が図られている。

⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等（前回評価時からの変化についても記載）

- ・一般国道403号整備促進期成同盟会から早期整備・供用の強い要望がある。

3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

- ・事業区間2.5kmのうち、これまでに1.8kmが供用済みであり、残事業区間についても現道拡幅整備により、大きな事業効果が発現することから、来年度以降も事業を継続したい。

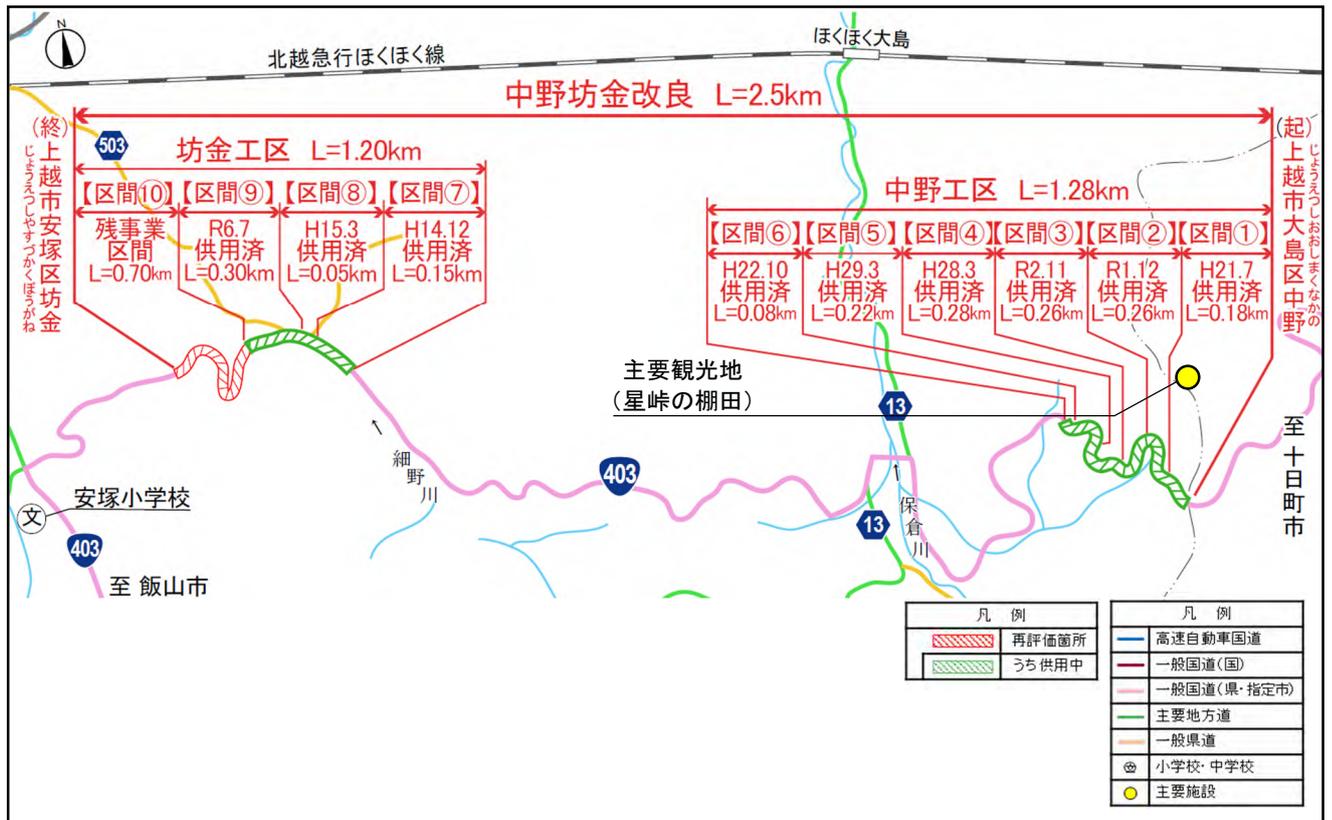
4 経緯

区分	当初(H9) 坊金拡幅	当初(H16) 中野拡幅	第二回再評価(H18) 坊金拡幅	坊金拡幅と中野拡幅 を合併(H19)
工期	H9～H23 (1997～2011)	H16～H24 (1997～2012)	H9～H23 (1997～2011)	H9～H24 (1997～2012)
総事業費	1,300百万円	650百万円	1,300百万円	1,950百万円
事業内容	(事業内容) L=1.4km 現道拡幅 橋梁1橋 (坊金拡幅のみ)	(事業内容) L=1.3km 現道拡幅 (中野拡幅のみ)	(事業内容) L=1.4km 現道拡幅 橋梁1橋 (坊金拡幅のみ)	(事業内容) L=2.5km 現道拡幅 橋梁1橋
費用対効果 (B/C)	B/C=- (全体) (= - / -)	B/C=- (全体) (= - / -)	B/C=1.1 (全体) (=1,398/1,330) B/C=1.9 (残事業) (=1,398/746)	B/C=- (全体) (= - / -)

区分	第三回再評価(H23) 中野・坊金拡幅		前々回再評価(H28) 中野・坊金改良	
工期	H9～H28 (1997～2016)		H9～H35 (1997～2023)	
総事業費	1,850百万円		2,262百万円	
事業内容	(事業内容) L=2.5km 現道拡幅 橋梁1橋	(残事業内容) L=2.3km 現道拡幅 橋梁1橋	(事業内容) L=2.5km 現道拡幅 橋梁1橋	(残事業内容) L=1.5km 現道拡幅 橋梁1橋
費用対効果 (B/C)	B/C=1.2 (全体) (=2,178/1,818) B/C=2.0 (残事業) (=1,987/984)		B/C=0.8 (全体) (=2,027/2,495) B/C=1.9 (残事業) (=1,170/605)	

区分	前回再評価(R3) 中野・坊金改良		今回再評価(R7) 中野・坊金改良	
工期	H9～R7 (1997～2025)		H9～R11 (1997～2029)	
総事業費	2,824百万円		3,324百万円	
事業内容	(事業内容) L=2.5km 現道拡幅 橋梁1橋	(残事業内容) L=1.0km 現道拡幅 橋梁1橋	(事業内容) L=2.5km 現道拡幅 橋梁1橋	(残事業内容) L=0.7km 現道拡幅
費用対効果 (B/C)	B/C=0.5 (全体) (=1,839/3,592) B/C=3.5 (残事業) (=1,509/426)		B/C=0.2 (全体) (= 890/4,837) B/C=1.4 (残事業) (= 588/427)	

【事業概要図】



① 現道状況 (線形不良箇所)



② 現道状況 (すれ違いが困難な状況)

